

面積:200,345平方キロ
(日本の本州の約9/10)
(全米50州中16位)
人口:1,826,341人
(2010年国勢調査)(全米38位)



ネブラスカ州概要

平成23年1月現在
在シカゴ総領事館

政 治

【州政治】

1. 知事: デイヴ・ハイネマン
(Dave Heineman)(共)
2005年就任, 現在3期目
2. 議会構成:
一院制(総数49議席) 超党派
3. 内政状況:
1867年の立州以来, 一般的には共和党支持傾向が強いが, 近年のネブラスカ州知事選では, 比較的保守的な立場をとる民主党候補が現職の執政を批判して当選した例もあり, 人や候補者の主張で選ぶ傾向も見られる。
2010年中間選挙では知事選, 連邦下院議員選とも共和党候補が勝利。特にハイネマン知事は州民の支持も高く, 74%という高い得票を得て当選している。
州議会は一院制で超党派から成っている。

【連邦政治】

1. 大統領選挙人数: 5名
2. 2008年大統領選挙における勝利政党:
共和党(得票率56.53%)
3. 連邦上院議員
ベン・ネルソン(Ben Nelson)(民)
マイク・ジョハンス(Mike Johanns)(共)
4. 連邦下院議員(議席数3名)
民主党0名 共和党3名

経 済

【州経済】

1. 主要産業
・農業: 穀物(トウモロコシ, 大豆), 畜産(牛)
・サービス業: 保険, 通信販売等
2. GDP: 864億ドル(2009年)
3. 1人当たり個人所得: 39,277ドル(2009年)
4. 失業率: 4.6%(2010年12月)
5. 輸出額: 4,873百万ドル(2009年)
6. 輸出品目: 加工食品, 一般機械, 農産物, 化学製品
7. 輸出相手国:
カナダ(29%), メキシコ(23%), 日本(9%)
中国(4%), オーストラリア(4%), 韓国(3%)
8. 予算: (2009年度)
(出典: U.S. Census Bureau)
歳 入: 7,381百万ドル
歳 出: 9,034百万ドル
累積赤字: 2,517百万ドル
9. 経済状況
ネブラスカ州は, アイオワ, イリノイに次ぐ全米第3位のトウモロコシ生産州であり, カンザスとともに米国を代表する肉牛生産州である。農業生産を背景とした食品加工も盛んであり, コンアグラ・フーズの本社がある。また, バークシャー・ハザウェイ社に代表される保険関連事業も盛んである。

【対日経済】

1. 対日輸出額: 416百万ドル(2009年)
2. 主要輸出品目: 加工食品, 化学製品, 輸送用機械, 電算電子機器, 電子部品
3. 日系企業の進出状況
37事業所(2009年10月現在)

日本との関係

1. 全般
ネブラスカ州にとって日本はカナダ, メキシコに次ぐ輸出相手国であり, 対日関心も高く, 経済, 文化, 姉妹自治体関係などで相互交流が活発に行われている。東京都に州政府及びパートナー企業駐日代表事務所を置き, 日系企業の誘致を行っている。
2. 要人往来
03年6月, ジョハンス知事(当時)が対日貿易促進を目的として訪日。
06年11月, シーヒー副知事が駐日事務所開所式出席のため訪日。
07年9月, ハイネマン知事が日米中西部会出席のため訪日。
3. 文化, 広報関係:
ネブラスカ大学リンカーン校言語学科には日本語講座が開設されており, 日系企業(川崎モータース)の寄贈により主に日本の図書を集めた「川崎文庫」がある。
また, リンカーンにはJET帰国者が創設した太鼓グループ「鼓響太鼓」が中西部を中心に活動している。
2010年, オマハのローリツィン植物園にて国際交流基金巡回展「日本人形」展を開催。
4. 在留邦人数(2011年1月18日現在)
1,317人
5. 姉妹都市関係(3)
静岡市(静岡県)ーオマハ
大津町(熊本県)ーヘイスティング
大津町(熊本県)ーアラバマ
2010年には静岡市とオマハ市の姉妹都市提携が45周年の佳節を迎え, 両市市民が相互に訪問, 交流を深めた。
6. 名誉総領事
ジョージ・J・ベリンジャー(オマハ)